

「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス」(GRENE)事業
北極気候変動分野 審査要項

平成23年4月22日
「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス」(GRENE)事業
北極気候変動分野 外部評価委員会

1. 審査方法

審査は、この審査要項に基づき、書面及びヒアリング審査により行う。提案された実施計画について、「評価項目及び審査基準」(別紙)に基づき、総合的に審査を行うこととする。

また、提案数が多い場合は、書面審査を事前に実施し、ヒアリング審査に進む提案を決定する。

2. 審査結果の通知及び公開

(1) 審査結果の通知

採択にあたっての条件が付された場合、当該提案の代表者と調整を行い、提案内容を修正した上で、採択を決定する。採択決定後、全ての提案について審査結果を書面で通知する。また、不採択については、その理由を付すものとする。

(2) 審査結果の公開

採択決定後、文部科学省ホームページへの掲載等により、採択提案の概要を公開する。

3. 守秘義務及び利益相反

(1) 利害関係者の不参加

委員は、本事業の提案には参加しない。提案と利害関係がある委員は、事務局にその旨申し出ることとし、書面審査及びヒアリング審査を行わないこととする。またその提案の採択の議決には加わらないこととする。

<利害関係の範囲>

- 1) 委員が所属する組織(大学・独立行政法人等の機関においては同一の学部・研究科・研究所等)の構成員が本事業の提案者となっている場合
- 2) 委員と密接な関係にあるもの(共同研究を行っているもの、親族等)が本事業の提案者となっている場合

3) 委員が中立・公正に審査を行うことが難しいと外部評価委員会等が判断する場合

(2) 守秘義務について

委員は、審査の過程で知り得た個人情報及び審査内容に係る情報については、外部に漏洩しないこととする。また、委員として取得した情報（提案書類等各種資料を含む）は、厳重に管理する。

別紙：「評価項目及び審査基準」

評価項目及び審査基準

- ① 研究内容の妥当性
 - ・ 「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス」(GRENE)事業 北極気候変動分野 運用基本方針に合致した内容であるか。
 - ・ 所要経費は適当に設定されているか。

- ② ネットワーク運営体制の妥当性
 - ・ 実施機関の提供する観測船及び観測基地における観測機器等の研究設備は北極域研究関係者全体に対し、十分な貢献をするものになっているか。

- ③ 実施体制の妥当性
 - ・ 実施機関には大学、独立行政法人等の研究者と共同研究を行うための体制が整備されており、これまでも十分な実績があるか。
 - ・ 計画を実施するために必要な人材、施設・設備等が確保されているか。
 - ・ プロジェクトマネージャは、計画を着実に推進し、統一的な成果を取りまとめるための能力を有しているか。
 - ・ 参画機関又は計画に係わる主要な者の責任体制が明確かつ適切に決められており、それぞれが十分な能力を有しているか。
 - ・ 代表機関及び参画機関について、主な事業内容、資産及び負債等財務に問題が無いか。

- ④ 委託契約事務体制の妥当性、その他
 - ・ 国内で行われている類似の事業等との区別が明確であるか。特に、他制度からの補助金、助成金等を受けている場合、その事業との仕分けが明確であるか。
 - ・ 実施機関は本事業の全体統括及び「北極環境研究コンソーシアム（仮称）」の運営を実施するにあたり、十分な執行能力を有するか。

ヒアリング審査

「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス」(GRENE) 事業
北極気候変動分野 評価結果 記入用紙

評価委員名: _____ . 利害関係の有無 有・無

番号:
実施機関:
実施機関代表者名:
事業計画名:

評価結果: 評価項目ごとに該当する欄にマル(○)を1つだけ記入してください。

(注) ヒアリング審査の結果は、総合評価によってのみ評価されます

	優れている	普通	劣っている
	A	B	C
(ア) 研究内容の妥当性			
(イ) ネットワーク運営体制の妥当性			
(ウ) 実施体制の妥当性			
(エ) 委託契約事務体制の妥当性、その他			

総合評価結果: 上記の評価をもとにして、該当する欄にマル(○)を1つだけ記入してください。

← 優れている					劣っている →
5	4	3	2	1	

コメント

(注) 採択／不採択理由の作成や条件付採択を行う場合の参考としますので、積極的にご記入願います。